

校外の人と会って話す時は、なるべく若手の先生を誘います。リアルな大学の現状、就職状況などを一緒に聞いてもらい、何かしら刺激を受けてくれたと感じたら、実際にやろうとしていることに誘ってみます。(宮城県)

できる限り、企画案の段階で先生方に個別に話し、アイデアをもらったらそれを汲み上げ、企画案に反映させながら徐々に進めていきます。地道に努力すれば、必ず実現できます。(大阪府)



ふだんの仕事を一生懸命やること。そうすると、新しいことを始める際、あいつだったら大丈夫と思ってもらえます。(北海道)

「何のために」それをやりたいのか。「生徒のために」が明確で、普段から生徒思いの先生がやることであれば、どんなことでも協力しようと思います。反対に、たとえ管理職からの業務命令でも、保身とか、上の立場に気に入ってもらいたいといった気持ちからの行動の場合は、協力する気にはなれないですね。(京都府)



なるべく早い時期から情報や計画を出し、意見を聞くこと。直前になっての提案は、反発を招くことが多いです。(埼玉県)

ゲリラ式に自分の授業やLHR、総合的な学習、委員会などで実践し、生徒が変わっていく姿をプリントなどで、ほかの先生方に広報しました。(静岡県)



私はそういうことが下手なのですが、上手な先生というのは、若手に積極的に働きかけ、一緒に動いています。ベテランはなかなか動きませんから。(大阪府)

## 進路指導、私の工夫 となりの知恵袋



テーマ：校内で新しいことを始める時、  
ほかの先生方に協力してもらう方法

ネット閲覧可

WEBサイトには紙面に載せきれなかったヒントも掲載  
キャリアガイダンス.net >> 「進路指導、私の工夫」をチェック!